

東京農業大学大学院と国際協力機構（JICA）との連携事業 ～長期履修制度を活用した大学院在学中の青年海外協力隊参加～

0. 制度の概要

東京農業大学大学院では、長期履修制度を活用し、博士前期(修士)課程在学中に、青年海外協力隊または日系社会青年ボランティアに参加することが可能です。

この制度は、本学の知見・人材を有効に活用することにより、開発途上国の農業分野の課題を解決するとともに、大学の国際協力分野における人材育成に資することを目的とし、本学と独立行政法人国際協力機構(JICA)との連携により H29 年度より新たに設置されました。

※長期履修制度とは

東京農業大学大学院の長期履修制度とは、職業を有している場合や育児・介護を行う等の事情により、標準修業年限(博士前期課程は2年、博士後期課程は3年)で修了することが困難な場合で、標準年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する場合、審査の上、その長期的な履修を認める制度です。

学費は標準修業年限分の学費に相当する額を、認められた長期履修期間に応じて分割して納入することになります。長期履修制度に関する詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

1. 入学前のながれ

(1) 事前相談

長期履修制度を活用し大学院在学中に青年海外協力隊への参加を希望する方は、必ず事前(7～9月頃)に問い合わせ先(本学国際協力センター)に連絡してください。国際協力センターから各専攻に問い合わせ、希望者の指導(准)教授(以下、指導教員)予定者を定めます。国際協力センターから希望者へ指導教員予定者の連絡先を伝え、連絡を取り始めます。両者は綿密な打合せを行い、研究計画を策定します。

なお、応募には語学力を証明する資格又はスコアの提出が必要です。TOEIC 等の試験を受けておいてください。詳しくは下記のURLを参照ください。

[【http://www.jica.go.jp/volunteer/application/seinen/language/index.html】](http://www.jica.go.jp/volunteer/application/seinen/language/index.html)

(2) 青年海外協力隊への応募・選考試験(東京農大国際協力センターへの書類提出を含む)

【応募書類の作成】

9月1日から JICA ホームページ(<https://www.jica.go.jp/volunteer/application/>)に募集要項が公開されます。募集要項に掲載されている要請一覧の中から、希望する要請を3つまで選択してください。なお、特定国・地域を定めた派遣ではないため、今次募集では、希望する国や職種での募集がない場合もありますのでご注意ください。

応募書類一式は10月2日以降に東京農業大学国際協力センターで入手できます。なお、一般の応募者はウェブ応募が可能ですが、本制度での応募者はウェブ応募ができませんのでご注意ください。

応募に当たり作成が必要な書類は①「応募者調書」、②「応募用紙」、③「語学力申告(語学力を証明

する書類)」、④「健康診断書」の4点です。本制度による応募では、職種別試験が免除されるため「職種別試験解答用紙」の提出は不要です。

【応募者推薦書の作成(指導教員)】

希望者は、上記①～④の応募書類作成を終えた上で、指導教員に⑤「青年海外協力隊2017年度秋募集応募者推薦書」の作成及び同書類の国際協力センターへの提出を依頼してください。

【東京農大国際協力センターへの書類提出】

①「応募者調書」、②「応募用紙」、③「語学力申告(語学力を証明する書類)」、④「健康診断書」の4点を応募者本人から、⑤「青年海外協力隊2017年度秋募集応募者推薦書」を指導教員から、本学国際協力センターへ提出してください。

国際協力センターへの提出締切日は、平成29年10月20日(金)です。

【青年海外協力隊合格発表までの日程(予定)】

一次合否発表:平成29年12月上旬

二次選考試験:平成30年1月上～中旬のいずれか一日 JICA から指定された日に都内で実施

二次合否発表:平成30年2月上旬

(3) 大学院への出願・入学試験

応募者は事前に受入教員と相談のうえ、出願期間内に「長期履修申請書」と「長期履修計画書」を提出してください。なお、出願期間中に長期履修制度の申請がなかった場合、後から制度適用を申請することはできませんので注意してください。

大学院入試に関する詳細は、入試案内ページ(<http://gs.nodai.ac.jp/admission>)で確認してください。なお、大学院への出願及び長期履修制度申請に関しては、大学院課までお問い合わせください。

【大学院入学試験から合格発表までの日程】

◎大学院農学研究科 第2期入試

出願期間:平成29年12月11日(月)～20日(水)

試験日:平成30年1月27日(土)

合格発表:平成30年2月2日(金)

◎大学院生物産業学 第2期入試

出願期間:平成30年1月15日(月)～19日(金)

試験日:平成30年2月10日(土)

合格発表:平成30年2月16日(金)

JICAによる青年海外協力隊選考試験と本学の大学院入学試験の双方に合格することで、長期履修制度を活用した青年海外協力隊への参加が可能になります。

(4) 訓練期間と派遣時期

平成 30 年度 3 次隊もしくは4次隊として派遣されます。3 次隊は訓練期間(平成 30 年 10 月上旬～12 月中旬)を経て、平成 30 年 12 月下旬～平成 31 年 1 月上旬に出発予定です。4 次隊は訓練期間(平成 31 年 1 月上旬～3 月中旬)、平成 31 年 3 月下旬に出発予定です。

2. 入学後のながれ

入学後のながれは下表のとおりです。派遣される隊次により時期が異なりますのでご注意ください。

	東京農業大学大学院 ^注		青年海外協力隊		
	3 次隊で派遣の場合	4 次隊で派遣の場合	3 次隊で派遣の場合	4 次隊で派遣の場合	
1 年目	4 月 博士前期課程入学				
	4 月～9 月 前学期履修				
	(10 月 協力隊訓練所入所)	10～1 月上旬 後学期履修	10 月 派遣前訓練 開始		
	(協力隊活動)		12 月 訓練終了～出発		
(1 月 協力隊訓練所入所)		1 月 出発	1 月 派遣前訓練 開始		
(協力隊活動)			1～3 月 協力隊活動	3 月 訓練終了～出発	
	2 年目	(協力隊活動)	4～12 月 協力隊活動	4 月 出発	
	1 月 一時帰国・演習指導		1 月 一時帰国	4 月～翌年 3 月	
(協力隊活動)	2～3 月 協力隊活動		協力隊活動		
	3 年目	4 月 一時帰国・演習指導	4～12 月 協力隊活動	4 月 一時帰国・演習指導	
1 月 帰国	(協力隊活動)	1 月 帰国		5 月～翌年 3 月	
				2～3 月 博士前期課程復帰	協力隊活動
				4 年目	4 月 博士前期課程
		博士前期課程復帰			
	3 月 博士前期課程修了	3 月 博士前期課程修了			

注：黄色セルは、大学院に通学する期間

協力隊参加期間中は指導教員と密に連絡を取り、指導教員のアドバイスを現地での活動に生かしてください。また現地での活動内容をもとに「フィールド調査」「インターンシップ」等の単位を認定する場合があります。単位の認定は専攻によって異なるので、指導教員と相談してください。

< 問い合わせ先 >

東京農業大学国際協力センター（担当：後藤）

TEL: 03-5477-2560、E-MAIL: tuacip@nodai.ac.jp

※件名を「大学院長期履修制度（氏名）」としてください。